

編集部より

編集部長 大島 和華子(都千歳丘高・校長)

令和5年度の編集部の活動予定を紹介いたします。

1 研究集録60号の発行

各分科会の研究成果を掲載し、令和5年3月の発行を目指して取り組めます。

この研究集録は、会員及び東京都の国立、公立、私立の高等学校に配布します。

また、研究集録のバックナンバーについても、事務局と連携して、都数研のWebページに掲載するための準備を進めています。会員限定でWebページでもバックナンバーを閲覧することができます。

2 デジタル会報の発行

例年7月、11月、3月にデジタル会報を発行しています。また、事務局と連携して都数研のWebページから閲覧できるようにしています。過去に発行した会報もデジタル化し都数研Webページに掲載しております。

このデジタル会報は、会員以外のどなたでも閲覧することができます。

3 研究集録に掲載する投稿論文募集

研究集録第60号は、年度末に発行予定です。各分会の研究発表、活動報告、大会の報告等を募集しております。投稿論文は「数学教育研究を通して高等学校の数学教育の発展を図り、社会発展に貢献する」という東京都高等学校数学研究会の設立趣旨にかなった、実践に役立つ各分科会での研究、交流、協議の成果をまとめたものとします。また、最近の数学教育や生徒の実態についての私見や情報交換も含む内容のものとします。

なお、提出された投稿論文は、本研究会にて査読させていただきます。

4 勉強会の実施

令和3年度は、編集部主催の第9回勉強会をオンラインにて実施(都立高校の先生(5名)による発表2本と教育庁指導部高等学校教育指導課課長代理並木 功氏から講演)いたしました。令和4年度は、準備の遅れもあり、日程、会場の都合がつかず、中止となりました。今年度実施する場合は、令和6年2月上旬を予定(会場、講演者、発表者未定)しております。日頃の研究成果、一人一台端末を活用した授業事例発表等、発表者を募集しておりますので、自薦・他薦をお願いいたします。実施の有無を含めて、改めてご連絡いたします。

5 編集部へのお誘い

本年も編集部への勧誘を積極的に進めてまいります。現在編集部員は14名です。

華々しい研究活動と違い、各分科会や研究協議での講演や発表などの様々な活動をまとめたり、原稿依頼や集約したりと地道な活動をしています。しかし、編集の企画、計画にも関わりながら研究会全体を知る機会にもなると思います。是非、皆様のご参加をお待ちしています。

事務局より

事務局次長 宇佐美俊哉(都神代高)

1 令和5年度 都数研関連の主な行事

5月13日(土) 定期総会 実践発表会

6月23日(金) 第99回授業研究

研究授業 「数学と人間活動(数学A)」

授業者 秋庭慎吾(都立川国際中等)

研究発表 「観点別評価の実践 ～主体的に学習に取り組む態度の評価について～」

発表者 村形政信(都西高)

8月9日(水)～10日(木)

第105回全国算数・数学教育(青森)大会 オンライン

8月8日(火) 高校生のための先端数理科学見学会

現象数理学への誘い(明治大学)

11月2日(木) 第78回関東甲信静数学教育研究神奈川大会

関ブロ代表者会議(横浜市)

11月12日(日) 科学の甲子園(採点協力)(都富士高)

11月30日(木) 第100回授業研究(都武蔵高・中)

1月下旬 宿泊研修

2月上旬 編集部勉強会

2 令和5年度会費納入のお知らせ

申込方法

*正会員・賛助会員(事前に承認を得ている方)は、都数研WEBに掲載の申込フォームよりお申込みいただけます。

*賛助会員の新規入会の場合は、事務局へご連絡ください。

振込先

銀行 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店

(店番135 普通口座0128396)

名 義 トキョウトウトカッコウ スガキョウイクケンキュウカイ

東京都高等学校 数学教育研究会

ジ McKay ジョウイ ヲクダクヤ

事務局次長 池田卓也

分科会で一緒に研究しませんか！

各分科会の活動内容については下記世話人までご連絡ください。

(1) 学習指導法分科会

村形政信(都西高), 平井 恒(都国立高)

(2) 数学I分科会

野並悠輔(都武蔵高), 佐々木啓丞(都東久留米総合高)

(3) ICT分科会

山下雅也(都国際高), 飯塚京子(都武蔵丘高)

(4) 大学入試分科会

前田 徹(千代田区立九段中等), 進藤貴志(都両国高)

(5) 定通分科会

今井陽一(都大江戸高), 渡辺恭介(都一橋高)